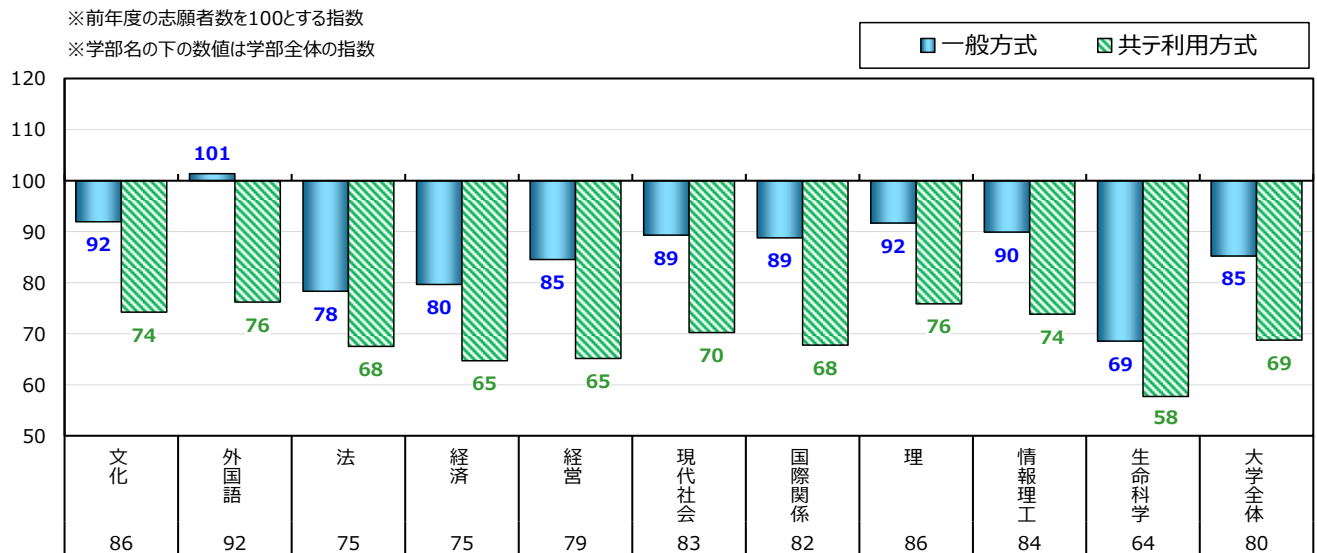


京都産業大：大学全体では大幅減少、特に共テ志願者数は9年ぶりに1万人以下 一般：-3,713人 共テ：-4,092人



主な入試変更点 出願方法：＜一般・前期＞、＜共テプラス・前期＞、＜共テ・前期＞
…共通テスト実施前に出願締切(1/4～1/13)→共通テスト実施後まで出願可(1/4～1/15)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、7,805人(80)の大幅減少。京都市内の鉄道ターミナルから離れたキャンパスのロケーションも影響。方式別では、一般方式は3,713人(85)の大幅減少で4年連続減少。10学部中外国語(101)を除く9学部は減少。共通テスト利用方式は前年度3年ぶりの増加から、4,092人(69)の大幅減少で再び減少に転じ、志願者数は9年ぶりに9,000人台となった。出願締切日を共通テスト受験後に変更した3方式は、出願時に自己採点集計に基づく目標ラインを確認できない状況には変化はなく、＜共テ・前期＞(64)、＜共テプラス・前期＞(73)はいずれも大幅減少、＜一般・前期＞(86)も減少。

<一般方式>

- 文化(92)は、前年度大幅減少に引き続き減少。学科別では、(京都文化)(84)は2年連続大幅減少、(国際文化)(100)は前年度大幅減少の反動はなく前年度並。
- 外国語(101)は、コロナ禍の収束による系統への人気回復の影響はなく前年度並。募集単位別では、(英語)＜前期＞(94)、(アジア言語)＜前期＞(97)はいずれもやや減少。一方で、3月募集の(英語)＜後期＞(160)は激増、(アジア言語)＜後期＞(143)も大幅増加。
- 法(78)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(法律)(74)は大幅減少で志願者数は2,000人を下回った。(法政策)(89)は4年連続減少。
- 経済(80)は、前年度4年ぶりに増加したが、大幅減少で再び減少に転じた。
- 経営(85)は、前年度3年ぶりに増加したが、大幅減少で再び減少に転じた。
- 現代社会(89)は、2年連続減少。学科別では、(現代社会)(89)は2年連続減少、(健康スポーツ社会)(90)は前年度増加の反動で減少。いずれの学科も志願者数は2017年度新設以降で最少。
- 国際関係(89)は、前年度大幅減少に引き続き減少。方式別では、＜前期＞(84)は2年連続大幅減少、＜中期＞(88)は2年連続減少。一方で、3月募集の＜後期＞(165)は大幅増加。
- 理(92)は、減少。学科別では、3学科中2学科で減少し、(宇宙物理・気象)(79)は大幅減少、(数理科学)(92)は減少でいずれも2年連続増加の反動。一方で、(物理科学)(124)は3年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率も18.6倍→23.1倍へアップ。
- 情報理工(90)は、減少。方式別では、＜前期＞(89)は前年度大幅増加の反動で減少、＜中期＞(97)はやや減少で2年連続減少。さらに、3月募集の＜後期＞(78)も2年連続大幅減少。
- 生命科学(69)は、前年度大幅増加し2019年度の改組以降初めての増加となったが、反動で大幅減少。学科別では、(産業生命科学)(66)は前年度の減少に引き続き大幅減少、志願倍率も21.9倍→19.8倍→13.1倍までダウン。(先端生命科学)(69)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願倍率は28.1倍→19.5倍へダウン。2学科とも志願者数は2019年度の改組以降で最少。

<共通テスト利用方式>

- 文化(74)は、2年連続大幅減少で、志願者数は700人を下回った。学科別でも、2学科のいずれも大幅減少。特に(京都文化)(69)は減少率31%。
- 外国語(76)は、大幅減少で4年連続減少、志願者数は2年連続で1,000人を下回った。学科別では、3学科とも大幅減少で、(アジア言語)(71)は減少率29%の大幅減少で4年連続減少、(英語)(73)は前年度増加の反動で減少率27%の大幅減少。
- 法(68)は、大幅減少で5年連続減少。学科別では、(法律)(65)は大幅減少で、志願者数は800人を下回り、志願倍率も54.3倍→35.3倍へ大幅ダウン。(法政策)(73)も大幅減少で4年連続減少、志願者数は8年ぶりに400人を下回り、志願倍率も57.3倍→42.1倍へ大幅ダウン。
- 経済(65)は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は1,300人余りまで減少。
- 経営(65)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は1,200人余りまで減少。方式別では、全方式で大幅減少。
- 現代社会(70)は、大幅減少。学科別では、(現代社会)(70)、(健康スポーツ社会)(71)は大幅減少でいずれも2年連続増加の反動。志願者数は2学科とも2017年度新設以降で最少。

- 国際関係(68)**は、前年度やや増加で 2019 年度の新設以降初めての増加となったが、その反動で大幅減少。方式別では、<前期>(56)は大幅減少。一方で、3 月募集の<後期>(123)は大幅増加。
- 理(76)**は、前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、3 学科いずれも減少。(宇宙物理・気象)(68)は大幅減少で、前年度志願者数が 3 年ぶりに 500 人を上回ったが、300 人台まで減少。(数理科学)(81)は大幅減少、(物理科学)(86)は減少でいずれも前年度増加の反動。
- 情報理工(74)**は、大幅減少。志願者数は 1,000 人を下回った。方式別では、全方式で大幅減少。
- 生命科学(58)**は、前年度大幅増加で 2019 年度の改組以降初めての増加となったが、反動で減少率 42%以上の大幅減少。志願者数は 600 人余りに減少。学科別では、(先端生命科学)(59)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願者数は 400 人台。(産業生命科学)(54)は大幅減少で、志願者数は 150 人台。2 学科とも志願者数は 2019 年度の改組以降で最少。